

## 静内高校生が

### 静内駅舎の活用を提言

静内高校で『日高地域「研究」の授業を選択している3年生20人による新ひだか町の社会的課題を探究した発表会が12月22日に公民館で開かれ、約40人が参加しました。静内駅舎の活用をテーマにした提言では、3グループから「公園カフェの導入」「町民に愛される駅舎とは？」「高校生が想う理想の静内駅とは?!」を題名に高校生の視点に立った課題解決案の発表が行われたほか、生徒が脚本から撮影、編集までを手掛けた短編映画『リトライ』が上映され、高校生らの熱演に会場は大きな拍手に包まれました。



## 災害ボランティアセンターの

### 設置・運営などの協定を締結

町と町社会福祉協議会（木村春夫会長）による『災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書手交式』が12月24日に役場静内庁舎で行われました。協定では、新ひだか町地域防災計画に基づき、ボランティアセンターの設置やボランティア活動の円滑な実施に向け、双方の果たすべき役割と協力事項などを定め、被災者の生活支援を図ることを目的としています。木村会長は「近年は災害が多く、町との協定締結により災害ボランティアセンターの設置などに尽力したい」と話しました。

## 町立静内病院院内保育所で

### 楽しいクリスマス会

町立静内病院院内保育所（ひまわり保育所）で12月24日に町内在住で町サポート大使の阿部卓馬さんを招いてクリスマス会が開かれました。この日は園児15人が手作りのトマトの帽子をかぶり、この日のために練習を重ねた阿部さんの曲『太陽の瞳』を音楽に合わせて合唱し、阿部さんに「プレゼントしました。阿部さんからは、『ジングルベル』と『太陽の瞳』の歌を園児らにプレゼントし、最後は仲良く一緒に歌いました。園児らは「一緒に歌えて楽しかった」と笑顔で話し、素敵なクリスマス会を過ごしました。



園児らによる歌のプレゼント